

新年度を迎えて

校長 清水 哲也

平成 30 年度がスタートにあたり、4 月 11 日の始業式で二つの話をしました。

学校は自らを鍛える場

授業や学習をとおして脳を鍛えます。全校体育や運動会、スキー授業などの行事をとおして体を鍛えます。学級活動や友人との交流をとおして優しさ、思いやり、協調性など心を鍛えます。特に脳を鍛えること、つまり学習によって学力をつけることは、学校に通う大きな目的の一つです。ときには、なぜこのような勉強をするのか、なぜこんなことを覚えなくてはならないのか、という疑問がわくときがあるかもしれません。学んで身に付けた知識や思考力、判断力は決して決して無駄になったり、その人にとってじゃまになったりすることはありません。たくさんの方々の分野に興味をもち、自分の疑問をとことん追求し、貪欲に知識を吸収してください。

日頃使っている言葉

「おはよう」とか「ありがとう」とか「がんばってるね」とか言われて嬉しい言葉があります。反対に、言われてとても嫌な言葉、不快な言葉もあります。例えば「キモイ」とか「死ね」と言われて嬉しい人はいるでしょうか。我々人間は言葉を持つことによって、言葉が使えるようになって大きく進化しました。そして言葉によって人間社会は発展してきました。しかし、言葉は他の人を攻撃する道具になり、ときには凶器にもなります。お互い思いやりの気持ちを忘れず、相手が嫌がる言葉は使わないことを頭においてこれからの学校生活を送っていきましょう。

この 4 月、私を含めて 3 名の教職員が新たに着任いたしました。児童・生徒は小学部 3 名、中学部 3 名、派遣教職員 5 名、現地スタッフ 4 名、合わせて 15 名での新しい年度のスタートになります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

<派遣教員>

校長 : 清水 哲也 (新潟)
教頭 : 吉永 早紀子 (大分)
小学部下学年 生徒指導主任 : 佐々木 梢 (栃木)
小学校高学年 研修主任 : 山田 由香里 (青森)
中学部 教務主任 : 山崎 信也 (神奈川)

<現地スタッフ>

事務主管 穴原 博行
英語講師 ミハイ・ドラグリン , ディヌン・カルメン・アンドレ
学校用務 クレツツ・ジョルジェッタ・アンドレア